



主催者メッセージ

～食の検定・食農3級第2回検定試験の開催を迎えて～

このたび、本年6月に開催致しました第1回に続き、「食の検定・食農3級」の第2回検定試験を無事に迎えることができました。今回は、開催地を広げ、全国9地区に会場を設けましたが、前回を超える3,000余名の受験のお申し込みをいただきました。

ここ1、2ヶ月の間、食の安全が脅かされる事件が続発し、消費者の食に対する疑問・関心がより大きくなって来たことはいうまでもありません。当協会は食農検定試験の勉強がきっかけとなり、生産者から消費者まで食の大切さを認識、共有することによってこれらの問題を改善することが出来るのではないかと考えています。

そのためには、生産者、食品メーカー、流通そして消費者一人一人が、現代の食の関わる環境、正しい食生活、日本の食文化などを理解しなければなりません。今起こっている事件のほとんどは、生産されている現場の担当者が問題点を認識したことによって表面化したケースがほとんどだと思います。生産する人も消費者の一人です。消費者が食を正しく学び、食の選眼力を身につけることは、食品業界のさらなる質の向上につながっていきます。

また、今回の試験から、企業・法人・学校・団体が地元で受験できるシステムを採用いたしました。受験地に行く費用、時間などの制約がある中で、より多くの皆さんに受験して頂ける機会を今後も増やしていきたいと考えています。

食育は日々の事柄です。まだまだ始めたばかりの運動ではありますが、より多くの方々に勉強して頂くことによって、食生活が改善され、こころ豊かな日本社会の復活、真の意味での美しい国になることを期待して、活動を続けてまいりたいと考えています。

最後に、第2回検定試験は、農業団体、市場など食農分野における新たなる支援者を得たこと、また第1回からの支援者のご協力があって迎えることができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今後とも私共の活動へのご理解、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

2007年11月25日

食の検定協会 代表理事 内田啓祐